

2020

RECURRENT  
EDUCATION  
CENTER

SHIMONOSEKI CITY UNIVERSITY



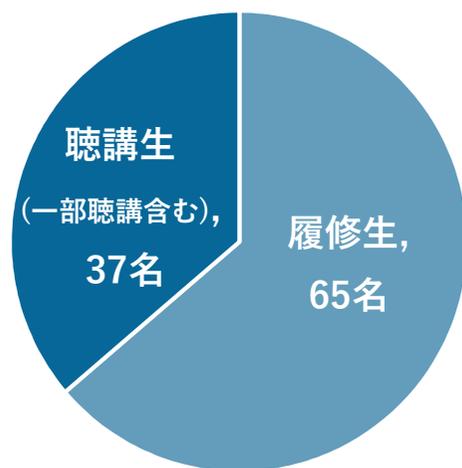
2020年度受講生データ  
2021.03



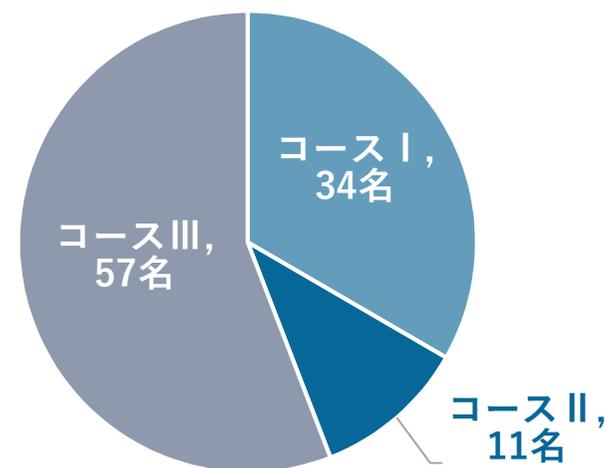
# 1. 受講生データの概要

- \* 1: コースIIは基礎科目群のみの開講
- \* 2: 基礎科目群が春学期で終了のため追加募集なし

	通常募集		追加募集(※8月)	
	基礎科目群	応用科目群	基礎科目群	応用科目群
I インクルーシブ教育専門家養成コース	14名	12名	—*2	8名
II パーソナルマネジメント専門家養成コース	7名	—*1	4名	—*1
III 子ども才能マネジメント専門家養成コース	24名	20名	—*2	13名
<b>合計</b>	<b>102名</b>			



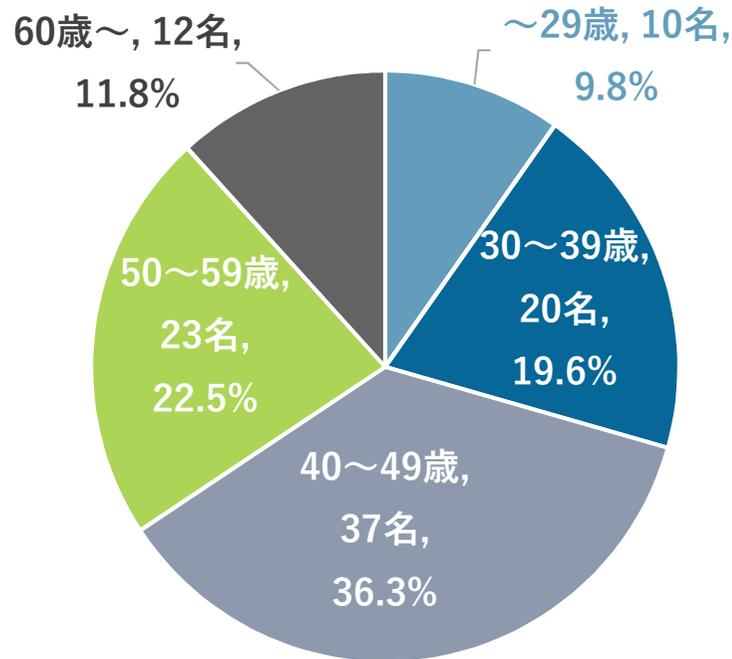
受講形態の内訳



コースの内訳

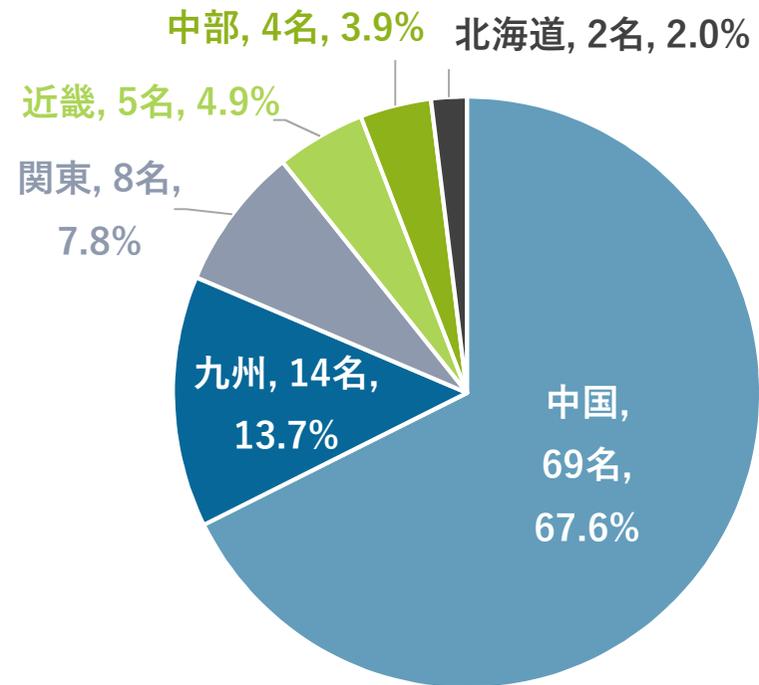
受講生 … 「履修生」及び「聴講生」、「一部聴講生」を含む、本リカレント教育センターの講義を受けたすべての人を指します。

# 1. 受講生データの概要



受講生の年代

- 21歳から74歳までの幅広い年齢層が受講。
- 特に30代と40代があわせて約56%と半数以上。

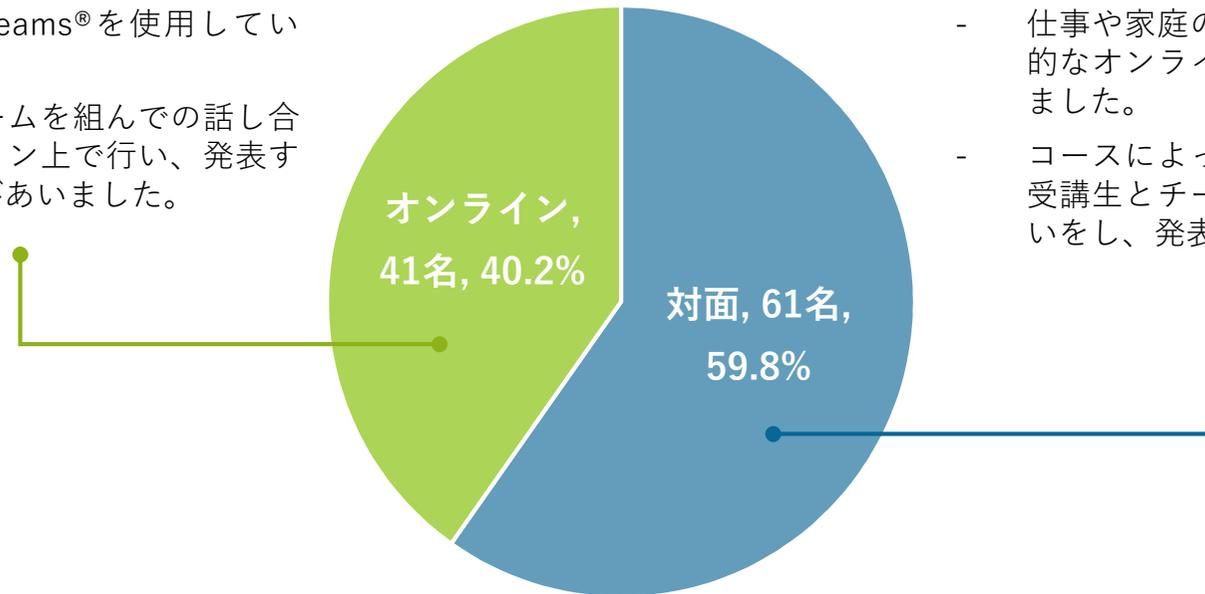


受講生の居住地（地方別）

- 北海道から沖縄まで15都道府県の、全国6地方から受講。
- 中国地方の内訳は、広島4名と山口65名で、うち下関市内在住の受講生は45名(全体の44,1%)。

# 1. 受講生データの概要

- オンラインは同時双方向型で行ったため、対面で開講される同時刻に参加し受講しました。
- Microsoft Teams®を使用しています。
- 複数名でチームを組んでの話し合いもオンライン上で行い、発表することで学びあいました。



- 対面は本学教室及びサテライトキャンパス(海峡メッセ)で、開講しました。
- 仕事や家庭の都合による、一時的なオンライン受講にも対応しました。
- コースによっては、オンライン受講生とチームを組んで話し合いをし、発表をしました。

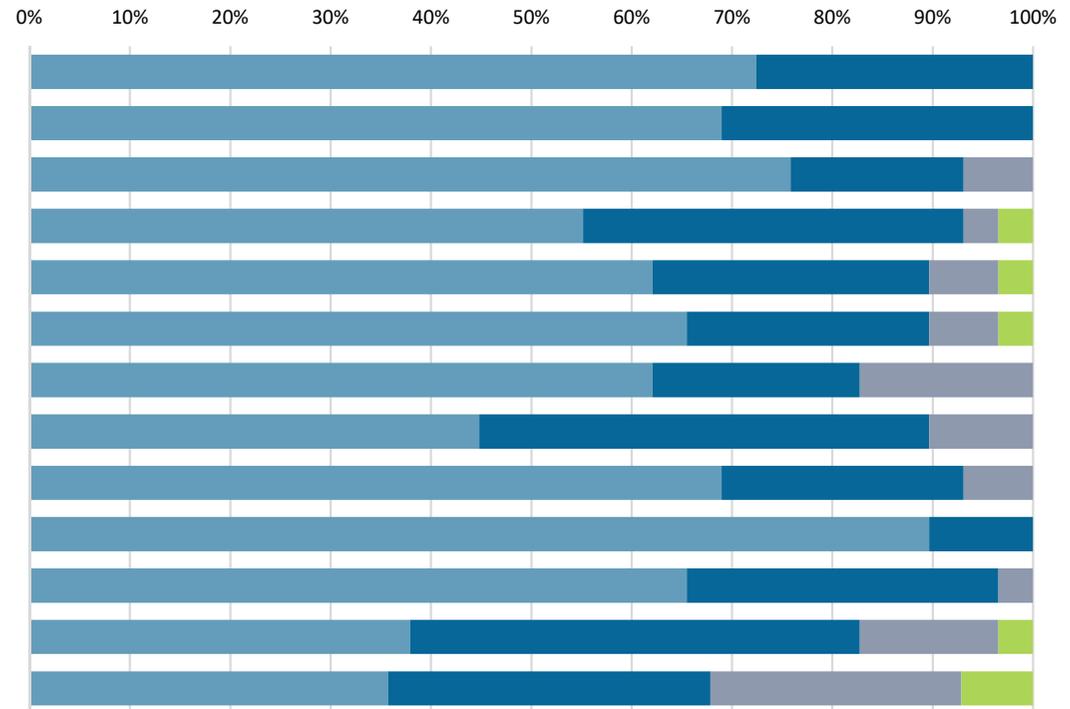
## 受講方法

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底し、対面とオンラインのハイブリッド型で開講。
- 対面60%、オンライン40%とほぼ半々。

## 2. 授業評価アンケートの結果 (n=29)

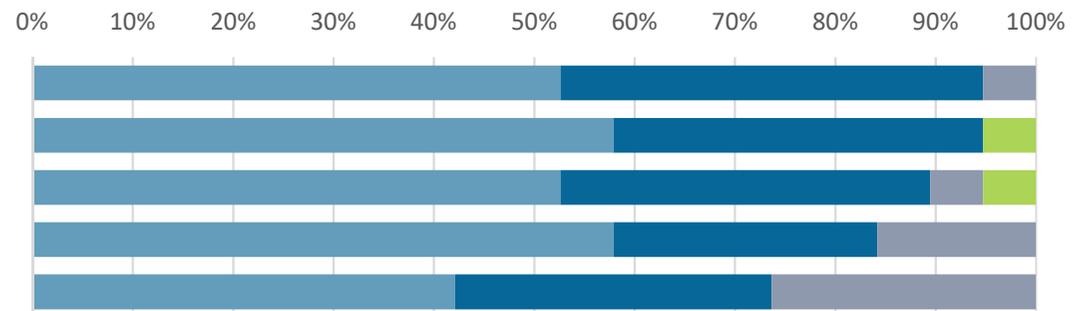
### 1. 講義内容について

- 講師は受講生の質問や疑問に分かりやすく応えられていた。
- 講師の声や話し方は聞き取りやすかった。
- 授業の進め方は受講生の反応などに寄り添っていた。
- 配布資料や映像資料などは分かりやすかった。
- 質問や疑問などを発言しやすい雰囲気だった。
- 講義に集中できる学習環境だった。
- 講義名から受けたいと思っていた内容が学習できた。
- 理論的な話や専門用語などの理解は促された。
- 実践的な内容は普段の仕事の参考になるものだった。
- 全体を通して多くの学びが得られた。
- 誰かにこのプログラムを紹介したいと思った。
- 選択したコース以外のプログラムを受講したいと思った。
- 受講料の設定は妥当であった。



### 2. オンライン講義について

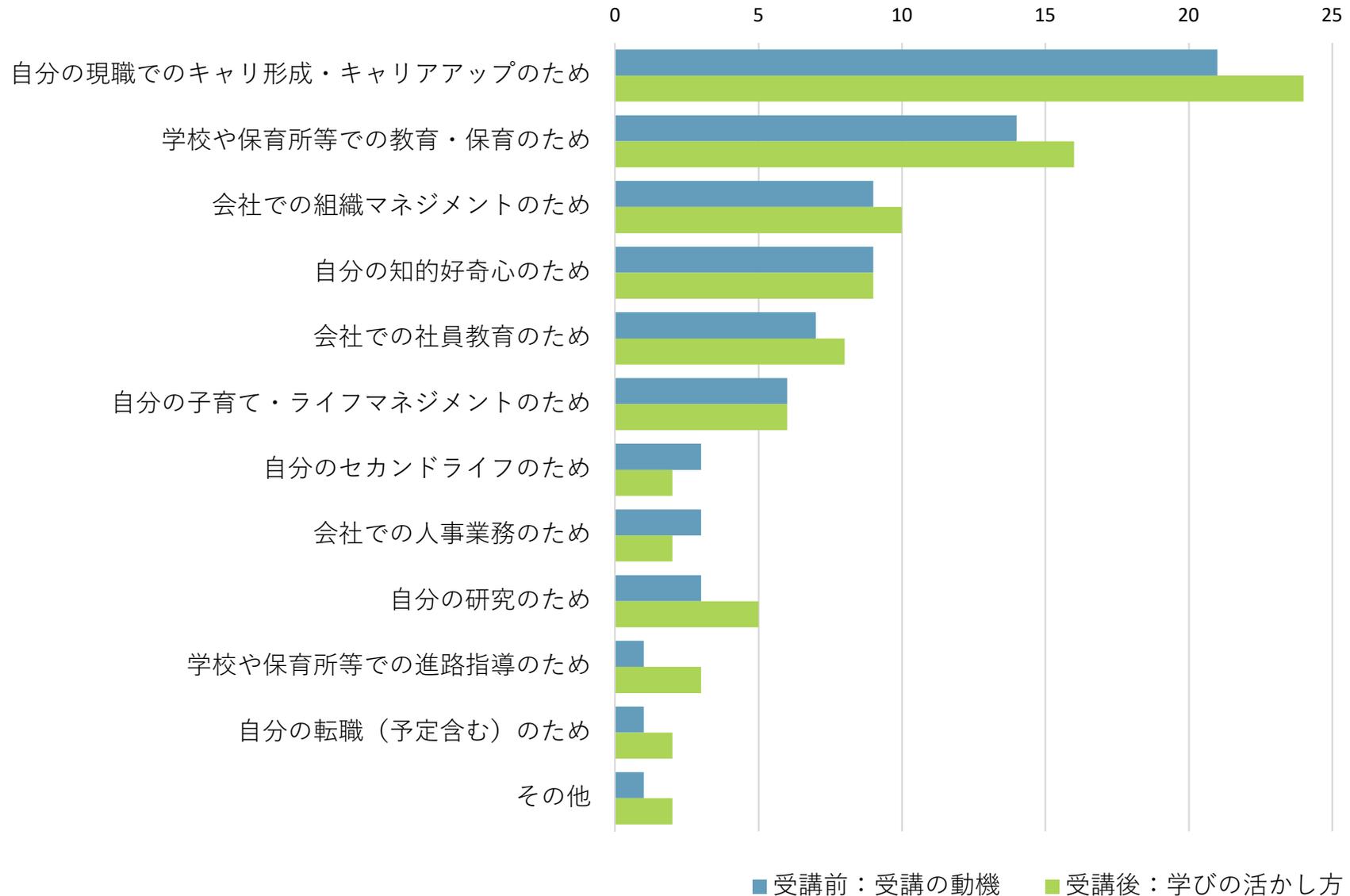
- 十分に講義に参加できたと思う。
- 講師の声は十分に聞き取れた。
- 共有画面の使い方は適切だった。
- 全体的にオンラインでの講義に満足している。
- オンデマンドでの講義が配信されたら受講したい。



■ とてもそう思う ■ そう思う ■ どちらでもない ■ そうは思わない ■ 全く思わない

## 2. 授業評価アンケートの結果 (n=29)

### 3. 受講の動機 と 受講後の学びの活かし方について



# 3. 受講生の声(抜粋)



## < I インクルーシブ教育専門家養成コース >

- 各講義で、背景や根拠の説明に哲学的な内容、経済や科学の分野からの知見が盛り込まれていて、難しかった半面、納得感や理解が進んだと思います。
- まとめのリーダーシップについての学びは、今の状況に当てはめて考えるきっかけになり興味深かったです。
- ユヴァリ・ノア・ハラリ氏のサピエンス全史をもとにした説明など。日本の学校教育を歴史的な視点から見る内容も面白かったです。

## < II パーソナルマネジメント専門家養成コース >

- 振り返ると授業において発達障害のようなワードはほとんど出てくることはなく、人の特性に目を向けて考える集団となっていることに驚きました。
- 分析するのはとても嫌でしたが、他の受講生の考えを聞くと勉強になることが多く楽しかったです。（回を重ねるごとに楽しくなりました）
- 「マネジメント」についての講義はとても印象に残りました。自分自身がリーダーとしてどうあるべきか思いをどう伝えていけばいいのか背中を押してもらった部分もあり、とても勉強になりました。
- 職場での困った人への対応の仕方、とらえ方など視野を広げることができるようになりました。自分なりの人の見方（否定的だけでなく肯定的）もできるようになりました。

# 3. 受講生の声(抜粋)



## < III子ども才能マネジメント専門家養成コース >

- どこが強みでどこが伸びしろなのかを理解した上で保育を行うことが大切だというエビデンスをたくさん教えていただき、私自身の理解が深まっていきました。
- 概念形成の歴史や文化との移り変わり、深まりなどに関する内容が、クレヨンを学ぶ上で自分自身の根幹となったため、とても興味深かったです。
- 学びが深まってくると、園にて保育内容を考える時に、概念形成の所からねらいをしっかりと持ち、設定し考えるようになり、質の高い保育になったと思います。
- 保育所保育指針の大切さや、いかに現場の先生が日々の保育に悩まされているのか、クレヨンブックはそれを解決するツールであることを、1年を通して学ぶことができました。社会人になって大学に通ったことで新しい刺激を受けることができました。
- 社会人になり数年働いたが故か否か、今まで勉学に励んだ時間の中で、一番楽しく学ぶことが出来ました。学生時代の勉学と比べると、学んだことをすぐに仕事を通してアウトプット出来る環境にいたことが、今回のリカレント教育を受講した感想に繋がっているのかもしれない。やはり、インプットだけではなく、アウトプットする機会は重要です。
- 保育の質の向上にすぐにつながり、視点が変わると、丁寧な保育ができるのだと、実感しました。自園の保育が、クレヨンブックのおかげで、陣保育所保育指針がしっかりと保育に生かされ始めたな、と目にみえて変わってきたことが何よりも嬉しく感じます。同じ方向を向くことで、職員間のチームワークも良くなり、最終的にはすべて子どもに還元されているように感じます。

### 3. 受講生の声(抜粋)



#### 【オンライン授業の良かった点】

- オンライン講義にトライしていただいた点に感謝いたします。「下関?!行くの無理でしょう。でも受けたい…」とずっと思っていたので。最初はどうなることやらと思っていましたが、慣れると案外、使えるな〜というのが正直な感想です。1年を通して思ったことは、対面だったら意見を言わなかったことも、オンラインだとついついしゃべりすぎてしまう…ということです。対面よりもストッパーが緩くなる感じです。そういう意味で、講義をひっかきまわしたことがあったかな〜と少し反省もしています。【※講師側の意見としては、発言しやすいという意味でよかったと思います。】
- 子供が小さいため、月に2回土曜日に参加することに不安をもっていたが、授業に参加しながらも、家庭の空気の流れを感じることができたことはとてもよかった。また、同様の理由から通学時間を省くことができたことも前向きに参加できることに繋がりとても良かった。

#### 【オンライン授業の改善点】：次年度からの講義改善に参考にさせていただきます。

- 授業は対面でない分孤独な1日だったので是非グループ討議をもっと取り入れていただいてもよいのではないかと思います。
- 事前に資料を印刷できていると良いのですが、共有頂ける時期によっては印刷できない場合もあり、画面上で資料を確認することがTeamsの画面上だと少し把握し辛かったです。

その他多数のご意見・ご感想をいただきました。  
アンケートへのご協力ありがとうございました。